



プレスリリース  
報道機関各位

公益財団法人名古屋YWCA

## 名古屋 YWCA は岩手県の風力発電所を主とした 再生可能エネルギー由来の電力の利用を選択しました

公益財団法人名古屋YWCA（愛知県名古屋市中区、代表理事：加藤佐紀子）は、この度みんな電力株式会社を通して岩手県盛岡市にある風力発電所を主とした再生可能エネルギー由来の電力を導入しました。

### ◆ 未来を開く17の扉とYWCA

YWCAは、誰もが自分の人生を選びリーダーシップを発揮できる社会を目標として、平和・非暴力・ジェンダー・貧困・さまざまな問題に包括的に取り組む国際NGOです。1855年英国で始まり、今では日本を含む120あまりの国で、約2,500万人の女性たちが活動しています。世界YWCAの共通目標として「世界に変革をもたらす若い女性のリーダーシップを実現する」を掲げ、SDGsの17目標の策定にも参画しました。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標



YWCAの活動は、SDGsが描く「誰も置き去りにしない」未来を実現するための取り組みそのものです。17の目標をテーマで捉えなおした「5つのP」は、様々な現代の課題が複雑に絡み合っていること、それぞれの目標には相関関係があることを示しています。



※国連広報センター『SDGsを広めたい・教えたい方のための「虎の巻」』より

世界を変える17の扉と5つのPは、高すぎる壁ではありません。1つのアクションが、複雑な課題を解決するきっかけになるのです。

参考：機関紙『YWCA』No. 750（発行：公益財団法人日本YWCA）

#### ◆ いま、ここでできること

名古屋YWCAは、日本で6番目のYWCAとして1933年に発足して以来約90年の間、地域で女性の視点でさまざまな活動を行っています。

- ・路上生活をしている方々に温かい食事を届ける「スープキッチン」
- ・シングルマザーに情報、ネットワークや居場所を提供する「Reborn」
- ・女性の抱える心理的問題をサポートする「WCNY」
- ・視覚に障がいを持つ方とともに美術を楽しむ「アートな美」
- ・録音図書を作成する「音声訳」
- ・外国人や発達障がいの子どもの学びのサポート「子ども支援」
- ・外国人が「労働力」ではなく「人」として暮らすための日本語を学ぶ場所「名古屋YWCA学院日本語学校」
- ・青少年が平和を考える場を提供する「スタディツアー」

などです。誰かの困難を自分のこととして捉え、いま、ここでできることに取り組んでいます。

## ◆ 名古屋YWCAの電力の選択

岩手県盛岡市の姫神山は、中腹から山裾にかけてなだらかな草原が広がる優美な山でスズランの自生地として知られています。石川啄木がこよなく愛した山としても有名なこの山の南麓に風力発電所「姫神ウインドパーク」があります。9基の風車が草原を渡る風を受けて回り、電気を生み出します。



姫神ウインドパーク



姫神山

運営事業者：コスモエコパワー株式会社 <https://cosmo.eco-power.co.jp/company/outline.html>

今回名古屋YWCAは、再生可能エネルギー由来の電力を選択すると共に、ブロックチェーン技術を活用した、みんな電力株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役：大石英司）の電源トレーサビリティサービスを利用し、姫神ウインドパークと電気を通じたつながりを実現しました。啄木の頬も撫でたであろう風が、名古屋YWCAに届き未来への扉をノックしています。

「自分が使用する電力を選ぶ」ことは、とても小さなアクションです。しかしこの1つの小さな取り組みが未来を開く扉へとつながっていると考えます。再生可能エネルギー由来の電力の利用は私達のアドボカシー（意見表明）の一つなのです。

### 【みんな電力株式会社について】

**みんな電力**

日本で初めて「顔の見える電力」として電力の生産者を応援する仕組みを実現したエネルギー・イノベーション・ベンチャー企業です。ブロックチェーン技術を活用した企業（個人）間での電力トレーサビリティプラットフォームの開発など、誰もが電気を選べる仕組みで再エネ電力の利用拡大をめざしています。

### ◆ 名古屋YWCAの東日本大震災被災者支援活動「名古屋いりゃあせツアー」

さらに、再生可能エネルギーの推進を目指し、3.11以降、東日本大震災、原発事故被災者支援にも力を入れています。大切な生活を一瞬で奪われることほど恐ろしいことはありません。弱い立場にある一人一人に寄りそい、震災、事故を風化させないための講演会など健康や自然環境を考慮する活動は、当団体に取り組むべき活動であるからです。

福島原発事故以来、放射能の不安から外遊びが十分にできない福島やその近隣に暮らすこともたちとその保護者に名古屋市と瀬戸市でリフレッシュしてもらう「名古屋いりゃあせツアー」を行っています。たくさんの寄付やボランティアによって支えられ、2019年度で8回目を迎えます。参加者は延べ208名、関わったボランティアは412名となりました。2019年度も8月17日（土）～21日（水）に開催を予定しています。



子どもたちの笑顔を見てきました。笑い声を聞いてきました。だから名古屋YWCAは、子どもたちの未来のために再生可能エネルギーを選びます。

公益財団法人名古屋YWCA 会館管理委員会

〒460-0004 愛知県名古屋市中区新栄町2丁目3番地

電話：(052)961-7707(代表) 担当：西田 メール：nishida@nagoya-ywca.or.jp